

## 昨年度までの検討成果のとりまとめ（案）

## Vol. 1 アーカイブ検討 WG 報告書 項目（案）

- 東日本大震災のアーカイブ概要
  - ・ アーカイブ化の目的、WG の実施体制、用語の定義等を記載。
- 地域や災害の基礎情報
  - ・ 東日本大震災における被害状況や地域別の基礎情報の取りまとめを記載。（被災状況、被害状況、災害廃棄物の状況、処理の状況 等）
- 災害廃棄物処理事業のプロセスの分析
  - ・ 宮古地区、大船渡市、石巻ブロック、仙台市の事例について整理。（災害廃棄物処理の進捗状況、処理体制、仮設処理施設の活用、し尿や生活ごみの処理等について、概要を時系列にて整理。）
- 災害廃棄物処理に係る実施事項総括表及び時系列取組の作成
  - ・ 宮古地区、大船渡市、石巻ブロック、仙台市の情報について整理。
  - ・ 関連業務の体制、処理計画の策定や見直し、運用・運行管理、渉外、仮置場、発注・契約関連、解体／撤去、環境配慮、適正処理、財政面 等。
- 教訓の抽出
  - ・ 宮古地区、大船渡市、石巻ブロック、仙台市について整理。
  - ・ 災害廃棄物処理のプロセスフロー図を作成し、処理の律速ポイントを抽出。
  - ・ 一次仮置場、二次仮置場、し尿処理等に係る課題・教訓を抽出。
- 今後の大規模災害への備え
  - ・ 東日本大震災における律速ポイントや課題・教訓を踏まえ、今後の大規模災害への備えとして整理。
  - ・ 事前の計画立案と備え、初動体制の整備、連携・協力の強化 等。
- 災害廃棄物処理の実務を担当した人材の整理
  - ・ 東日本大震災等の過去の災害で活躍した人材（災害廃棄物処理の実務を担当した人材）の整理。  
※もしくは、D.Waste-Net の登録者リスト。
- 参考資料

## Vol.2 技術・システム検討WG報告書 項目（案）

- 発災後の処理の進捗に応じた要処理量を把握するための手法
  - ◆ 災害廃棄物発生量の推計手法
  - ◆ 地域特性の整理
    - ・ 社会環境システムに係る情報と被害の地域特性の関係 等。
    - ・ 平成 25 年度の検討内容の整理。
  - ◆ 要処理量の把握手法の検討
    - ・ 発災前における要処理量把握手法の検討、被害想定から災害廃棄物量を推計する方法。
    - ・ 東日本大震災の処理実績に基づいた選別率の算定方法。
    - ・ 最終処分先、リサイクル先の条件を加味した要処理量算定の考え方。
    - ・ 処理の進捗に応じた要処理量把握手法の検討 等。
  - ◆ 今後の検討課題
  
- 混合廃棄物の選別技術・システムに関する検討
  - ◆ 混合廃棄物の選別技術の基礎情報の整理
    - ・ 各処理区の概要、基礎情報（処理量、仮置場面積、破碎・選別機械数、系統数 等）。
  - ◆ 受入先の基準・品質に関する事例整理
    - ・ 受入先（焼却施設、セメント工場、最終処分場等）の受入基準、品質の整理。
    - ・ 処理困難物の処理事例。
  - ◆ 標準処理フローの設定
    - ・ 設定の目的、処理工程の分類と各工程の目的、役割、機能の整理・検討。
    - ・ 粗選別工程、選別前処理工程、選別工程、細選別・調整工程の分析結果。
    - ・ 標準処理フローの設定、設定にあたって留意すべき事項、課題 等。
  - ◆ 標準処理フローの活用方法
  - ◆ 今後の検討課題
  
- 仮置場情報の整理
  - ◆ 仮置場の定義
    - ・ 東日本大震災の事例（一次仮置場、二次仮置場）。
  - ◆ 仮置場の確保に係る留意事項
  - ◆ 仮置場計画
    - ・ 候補地の選定に当たって考慮すべき事項の整理。
    - ・ 岩手県、宮城県の実例調査、官民地の利用割合。
    - ・ 仮置場の敷地利用状況調査結果、処理能力と敷地面積との関連調査 等。
    - ・ 仮置場の計画の考え方（処理量、受入条件、搬出条件による計画の考え方。）。
    - ・ 必要面積の算定方法、廃棄物の保管計画、整備に当たっての諸手続について。
  - ◆ 仮置場の整備・運営に係る留意事項
    - ・ 二次仮置場の施設配置事例の整理、レイアウトの考え方。
    - ・ 二次仮置場の主要設備、廃棄物（可燃物、不燃物、危険物 等）の保管方法。
    - ・ 仮置場の安全衛生対策例、環境対策例 等。
  - ◆ 今後の検討課題
  
- 参考資料